



春のアラスカ北極圏、群れにはぐれてさまようカリブー

星野道夫

Hoshino Michio The Eternal Journey

悠久の時を旅する

私はいつからか、
自分の生命と、自然とを切り離して考えることが
できなくなっていた。

2022 11月19日(土) — 2023 1月22日(日)

TOP MUSEUM

開館時間 | 10:00～18:00 (木・金曜日は20:00まで) ※入館は閉館の30分前まで

休館日 | 毎週月曜日 (月曜日が祝休日の場合は開館、翌平日休館)、

年末年始 (12/29—1/1、1/4) ※12/28、1/2、1/3は臨時開館

東京都写真美術館 地下1階展示室

恵比寿ガーデンプレイス内

主催 クレヴィス

共催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

協力 星野道夫事務所 後援 目黒区

極北の自然に魅せられた写真家の軌跡

少年の頃から北の自然に憧れ、極北の大地アラスカに生きた星野道夫。

取材中に事故で亡くなり、25年以上を経た現在においても、心打つ大自然や動物の写真と美しい文章で、多くのファンを魅了しています。北極圏の大自然、そこに息づく野生動物や人々、そして語り継がれた神話……星野は多くの「出会い」を通じて思索を深め、写真家として成長していきました。

本展では、20歳の時に初めて足を踏み入れたアラスカの村の記録から、亡くなる直前まで撮影していたロシアのカムチャツカ半島での写真までを一望します。また、初めてシシュマレフ村の村長に宛てて書いた手紙をはじめ、貴重な資料展示を交え、旅を終えることなく急逝した星野道夫の足跡を辿ります。生誕70年にあたる2022年、未完の作品群から、「自然と人の関わり」を追い続けた星野の旅に思いを馳せていただければ幸いです。

Prologue

1973年、シシュマレフへ アラスカとの出会い

星野道夫は、大学1年生時に東京・神田の古本屋街で1冊の洋書に出会う。この本に掲載された小さなエスキモーの村の空撮写真に魅せられた星野は、1973年の夏、現地に赴き、極北の大自然の中で狩猟生活を営むエスキモーの大家族の家で3カ月を過ごした。



初めて訪れたシシュマレフ村にて。1973年



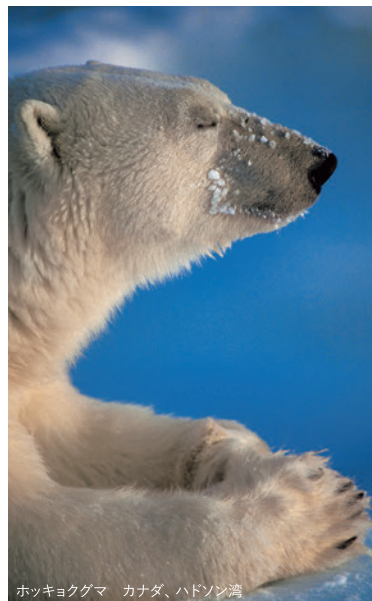
秋の夕暮れ、カリブーが極北の河を何かに急がされているように渡っていった

第1章

生命の不思議

極北の動物たちとの出会い

星野道夫は大学の卒業が近づいたころ、アラスカの自然や、そこに生きる人々の暮らしを写真を通して表現できないだろうかと写真を意識します。日本の大学を卒業後、動物写真家の助手を2年間務めたのち、1978年、アラスカ大学野生動物管理学部に入学。1年の大半を旅に過ごして自然写真家としての道を歩み始めた。



ホッキョクグマ カナダ、ハドソン湾



草むらに潜むグリズリー



タテゴトアザランの親子



ホッキョクシリス



ドールジープの群れ



星野道夫 (ほしの・みちお)

1952年、千葉県市川市生まれ。19歳のときに目にしたエスキモーのシシュマレフ村の空撮写真に惹かれ、村長宛に手紙を書く。20歳の夏休みにアラスカに約3カ月滞在。帰国後、アラスカへの思いが募り写真家の道を選ぶ。慶應義塾大学卒業後、動物写真家・田中光常氏の助手を2年務める。1978年、アラスカ大学野生動物管理学部に入学。以後、アラスカの自然と人々をテーマに写真と文章で記録し発表。1996年8月、カムチャツカ半島で取材中にヒグマに襲われて急逝。アニメ賞・木村伊兵衛写真賞受賞。

第2章

アラスカに生きる 人々との出会い

星野道夫は野生動物の撮影を続けるうちに、極北の動物を獲り独自の文化を育んできたエスキモーやインディアンたち、またアラスカの自然を愛する多くの人々に出会い、繋がりや輪を広げていく。1990年、星野はフェアバンクス森の中に家を建て、旅行者の目ではなく、アラスカの住民として、この土地に関わっていくことを決意する。

第3章

季節の色 自然との出会い

1年の半分を占め、氷点下50度にもなる苛烈なアラスカの冬。それでも星野道夫は、冬が一番好きだという。冬があるからこそ、春の訪れもドラマティックで、短い夏にあらゆる生命が成長と繁殖を一気呵成に押し進める。紅葉のピークもわずかに1日で移ろいゆく。星野は感覚を研ぎ澄まし、アラスカの季節の動く瞬間を捉えようとした。



満月の夜、伝統的なクジラ漁のボート、ウミアックに乗り、氷海にクジラを追う



アルペングロウ(山頂光)に染まる夕暮れのデナリ



ワイルドストロベリーの葉に霜が降りる

第4章

森の声を聴く 神話との出会い

星野道夫は1993年、初めてカナダのクイーンシャーロット島(現ハイダ・グワイ)を訪れ、森の中で朽ち果てたトーテムポールに出会う。この世に光をもたらし、あらゆるものを創造したとされるワタリガラスが、そこには刻まれていた。星野はその場所に霊的な力を感じとり、極北のインディアンやエスキモーたちが共有するワタリガラスの神話を求めて、みづから体験する旅を始めた。



かつて人々が神話の時代に生きた場所



日没直前にドレスアップして来てくれたミシャの一家

第5章

新しい旅 自然と人との関わりを求めて

北極圏の自然と野生動物を追い続けて来た星野道夫は、自然と密接に関わりながら生きて来たエスキモーや極北のインディアンの古老たちを訪ね、彼らの話に深く耳を傾ける新たな旅を始める。さらにアラスカの狩猟民のルーツを求めて、彼らが1万数千年前に渡ってきたベーリング海峡を越えシベリアに赴く。



クジラの肋骨が立つ浜 ロシア領、イティグラン島 1996年

対談

アラスカとの出会いを通して

星野道夫事務所代表の星野直子と北米の「ノースウッズ」をフィールドに活動続ける写真家、大竹英洋による対談です。

出演 星野直子 (星野道夫事務所代表) × 大竹英洋 (写真家)



短期大学卒業後、書店に勤務。1993年に写真家・星野道夫と結婚しアラスカでの生活が始まる。撮影にも同行し、フィールドでの時間も共に過ごした。1996年星野道夫が急逝。2000年に星野道夫事務所を設立し、日本とアラスカを行き来しながら作品の管理を務める。

11/20(日) 14:00—15:30 [13:30 開場]

定員：160名



1975年生まれ。1999年より北米の湖水地方「ノースウッズ」をフィールドに野生動物を撮影。「人と自然の物語」をテーマに活動が続いている。写真集『ノースウッズ 生命を与える大地』で第40回土門拳賞受賞。2022年、星野道夫の足跡を追って初めてアラスカを旅した。

お申込み・詳細はこちらから

ご参加無料



※要事前申込み

【お問合せ】株式会社クレヴィス

TEL 03-6427-2806

✉ info@crevis.co.jp

※申込み多数の場合は抽選となります。

※イベント内容が変更または中止になる場合がございます。

※イベントのご参加には本展の観覧券が必要です。

公式 SNS で最新情報をお届け



「@hoshinoyukyu」

「#悠久の時を旅する」

記念講演会

悠久の時を旅する
星野道夫が見続けた風景をたどって

星野直子による解説付きで星野道夫が撮影したアラスカの写真を鑑賞いただける講演会です。

出演 星野直子 (星野道夫事務所代表) 各日程 定員：170名

① 12/3(土) 14:00—15:30 [13:30 開場]

② 1/7(土) 14:00—15:30 [13:30 開場]

写真と音楽

旅をする音楽 supported by PLAY EARTH KIDSTM
星野道夫 × haruka nakamura

「星野道夫の写真と haruka nakamura のピアノ」

星野道夫に多大な影響を受けてきた音楽家 haruka nakamura。いよいよこのコラボレーションが実現します。写真の投影にインスピレーションを受ける即興的なピアノ演奏、そしてスペシャルゲストとして本田慶一郎が星野道夫の言葉を朗読。

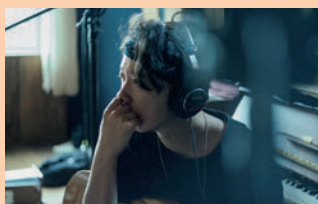
写真と言葉と音楽から、もうひとつの時間を感じてください。

*イベント入場料金の一部を「Northern Alaska Environmental Center」へ寄付いたします。

ピアノ haruka nakamura

Special Guest (朗読) 本田慶一郎

各公演 定員：190名



青森出身 / 音楽家

15歳で音楽をするため上京。2008年1st アルバム「grace」を発表。それまで主にギターを弾いていたが、2nd アルバム「twilight」以降、ピアノを主体に音楽を作るようになる。「スティルライフ」など多数オリジナル・アルバムを発表。最新作は THE NORTH FACE Sphere とのコラボレーションによる四季を通じたシリーズ「Light years」旅をしながら音楽が続いていたが、2021年より故郷・北国で音楽をすることにした。

https://www.harukanakamura.com/

12/27(火) ① 15:00—16:00 [14:30 開場]
② 18:30—19:30 [18:00 開場]

お申込み・詳細はこちらから

料金 4,800円 [税込]



※展覧会の招待券がついています。

※要事前申込み

【お問合せ】株式会社 one cushion

TEL 090-1522-1624 (10:00—16:00)

✉ info@one-cushion.com

※定員に達し次第、申込み受付を終了します。

※イベント内容が変更または中止になる場合がございます。

haruka nakamura の最新情報

Twitter @__CASA

Instagram @_casa

星野道夫

Hoshino Michio The Eternal Journey

悠久の時を旅する

Tickets

観覧料(税込)	一般	学生	中高生・65歳以上	小学生以下
通常	1,000円	800円	600円	無料
各種割引※	800円	640円	480円	

※当館の映画鑑賞券をご提示の方、各種カード会員様、目黒区在住の方

(お住まいの住所が分かるものをチケット販売カウンターにてご提示ください)

※小学生以下、都内在住・在学の中学生および障害をお持ちの方とその介護者は(2名まで)無料です。

※各種割引の併用はできません。 ※本展はオンラインによる日時指定予約を推奨いたします。

※事業は諸般の事情により変更することがございます。

最新の情報はクレヴィスまたは星野道夫公式ホームページをご確認ください。

※会場混雑時には、ご入場をお待ちいただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM



JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、または東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。当館には専用の駐車場はございません。お車でご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 TEL 03-3280-0099 www.topmuseum.jp